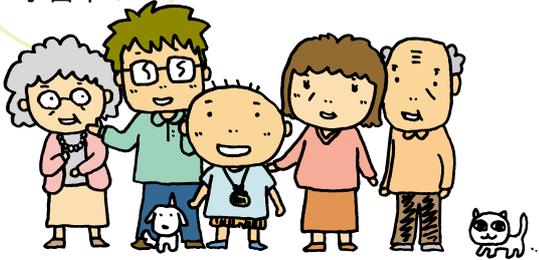


矢口家でも
おかねについて
学習中！

「全国キャラバン金融講座」in 那覇 現場レポート

～ 金融トラブルに学ぶ・自立と新しい時代の生活設計 ～



日本銀行情報サービス局が事務局を務めるマネー情報知るぽると 金融広報中央委員会は、中立・公正な立場から金融経済情報の提供と金融経済学習の支援を行っています。知るぽるとのぼるとは「入口」や「港」という意味です。HPアドレスは、<http://www.shiruporuto.jp/> です。

金融の知識を学んで、
自立した生活力をつけよう

生活に最も身近なお金・金融

について、最近のトラブル・被害の実態や、トラブルに巻き込まれる心理状態などを一緒に学びましょう。そして、「トラブルの未然防止」、「自立」、金融知識に裏打ちされた「新たな生活設計の構築」のためのヒントをつかみましょう！

こんな呼びかけに、那覇では十月一日（土）、台風の接近が心配されていたにもかかわらず、「全国キャラバン金融講座」の会場である都ホテルに、一四三人もの大勢の参加者が集まりました。

悪徳業者は
投資心理学を悪用する！

本日一人目の講演者として登壇した、消費者金融問題が専門の桜井健夫弁護士は、こんなクイズをはじめました。「次の二つの選択肢があつたら、あなたはどちらを選びますか？ 今、八〇万円を払わなければいけな

い。今、一〇〇万円を払わなければいけないが、一五%の確率で全額支払を免除する当たりくじが入っているくじをひくことができます」。参加者の皆さんに挙手をして頂くと、ちよつと迷いつつもほとんどの方が「」を選びました。そこで桜井氏が、重み付け関数や価値関数のグラフを示しつつ、分かりやすく解説していきます。「支払額の期待値（八〇万円、八五万円）を計算すれば、の方がお得なわけですね。しかし、この会場の皆さんだけでなく、ほとんどの方は期待値ではなく、ほとんどの方は期待値は損なを選ぶんです。これは、リスクのある商品を選択する際にとる行動においては、期待値ベースの損益に対して、主観的な価値は直線的な相関関係にないということを示しています。五〇万円の損をした時に感じる痛みと、一〇〇万円の損をした時の感じる痛みとを比べると、二倍の痛さではなくて差はもっと小さいということなんです」。

「さて、悪徳業者はこうした心理学を実によく勉強して、皆さんを騙す時にフル活用するんです。勧誘文言の代表例である『今の損を取り戻しましょう』とか、『この金額を追加しないと、これまでの投資額を守れませんよ』というのは全部これです。皆さんも、こうしたことをよく知って、勧誘文言に騙されないようにしないと」。ここで会場の参加者は大きくうなずきます。

ここから桜井氏は、具体的な投資被害の実情を紹介していきます。高齢者を狙う外為証拠金取引被害から、三〇代銀行員を狙う商品先物取引被害などなど。そして、金融トラブルに巻き込まれないように自分を守るポイントを並べていきます。会場の中には、配布されたレジュメに熱心に書き込みをして聞き



全国を遊説中！



入る方も。予定された講演時間の四〇分間はあっという間に過ぎていきました。

賢い消費者になろう

続いて、国民生活審議会委員も長く務め消費者相談のプロである原早苗氏が登壇です。原氏は、親しみやすい語り口で「賢い消費者になるためのアドバイスポイント」を説明していきます。とくに、実際の金融商品のチラシに沿って選び方のポイントを挙げながら、「金融商品のチラシ・広告には、小さい字で書いてあることほど重要です。隅から隅まで、熟読すべきですよ」と強調なさると、会場の方々からは「なるほど。そんなところに落とし穴があるんですね、気をつけなくては」と納得の反応が。

次に原氏は、金融トラブルについて、「その特徴は、被害金額が大きいこ

と、被害額の救済（返戻）がされにくいことですから、とにかく、遭わないように予防することが肝要ですよ!」、「ただ、いったんトラブルに巻き込まれてしまったら、自分一人では悩まないことです。国や地方自治体では、消費者相談窓口を充実させていますので、活用して下さい」と会場の皆さんに熱心に語り掛けました。

生活設計を立てて、自分のニーズを知ろう

お二人の講演が終わって、パネルディスカッションと質疑応答の時間になると、待っていたとばかり、参加者から真剣な質問が。トップバッターの四〇代くらいの女性からは、「原先生、保険商品について、もっと具体的な選び方やお勧め商品を教えて下さい」との質問が。原氏から「第一に大切なことは自分が何を目的に保険をかけたのか、ニーズを明確にすることです。家計管理、生活設計を立てることが先決で、その上で生活設計のニーズにあった金融

商品を選ぶという順番ですよ。

そして、金融機関の担当者、この商品は何のニーズにどう応える商品設計なのか、嫌われるくらい詳しく尋ねることですね。そうやっていくと、自分にあつ商品がみえてきます」とのアドバイスが。また、六〇代くらいの男性からは、「金融知識がないと危ない時代になったことがわかりました。でも、どうやって勉強すればいいんですか?」と。この質問に丁寧に答えた桜井氏からは「知るばるとホームページにも、たくさん金融知識を身につけられるコンテンツが載っています。通信講座もありますよ」と金融広報委員会のPRもして頂きました。

「参加者アンケート」で講演会の反響をみると、「実例が多くてとても分かりやすいお話だった」「金融商品のチラシ・広告の見方が変わりました」「金融トラブルは、悪質業者の手口が日進月歩なので、こつした専門家の方の講演会を度々開催して欲しい」「自分の子供にも金融知識を勉強させていく必要があるな」と実感した」などの声が多く聞かれ

たのはうれしいことです。

キャラバン金融講座が、全国を遊説して回ります!

今回、那覇で開催された「全国キャラバン金融講座」は、金融広報中央委員会（および各都道府県金融広報委員会）の主催により、平成十七年八月から十八年三月までの間、「金融トラブルに学ぶ・自立と新しい時代の生活設計」をテーマに、弁護士、消費生活専門相談員、大学教授、生活経済ジャーナリスト、ファイナンシャルプランナーなどの各界著名講師陣が全国各地二七カ所を遊説し、聴衆の方々の質問にも直接お答えするものです。このように一つのテーマで全国を講演して回るキャラバンは、十六年（テーマは、ペイオフ関係でした）に続き、十七年が二年目です。あなたの町にも、これからキャラバンが回りますので、ぜひ地元の方に「参加の呼びかけをしてみてください。ご興味のある方は、金融広報中央委員会のホームページをご覧ください。」